

自然と文化科 活動記録

日時	2025年10月3日(金) 10時～15時	担当者
場所	奈良県大和郡山市「秀長さんゆかりの地を巡る」 集合時間／1・2班：10時 3・4班：10時15分	文・写真 宮澤 富美雄
備考	参加者数：1班21名 2班16名 3班16名 4班18名 実習生3名 合計74名 天候：曇り時々少雨	

企画委員会による自主ガイド企画。

来年のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」に先駆けて、豊臣秀吉の実弟・秀長が築城した奈良県大和郡山市の大和郡山城および街中を訪ねる。

大和郡山市

市は、奈良県北西部に位置する人口約82,000人の都市である。大和郡山市といえば、「金魚」が有名であり、市は金魚の三大産地のひとつになっている。今回この市が一躍脚光を浴びることになったのは、安土桃山時代の天正13年(1585)「豊臣秀長による築城」が行われた地であることによる。歴史を紐解いてみると、この地に最初に築城を命じたのは信長であり、秀吉は実弟を国主としており、また、徳川時代には譜代大名が歴代の城主となっている。京都の天皇家を守るための場所として、また大坂の守護として、大和郡山は重要な場所だったのであろう。

城址・町

現在残っている城址・天守台は秀長が築城した時代のものとされている。関ヶ原合戦で徳川方の勝利した後、秀長が造った天守は解体されてしまい、その後再建されていない。

在城期間は6年ほどにしか過ぎないが、本格的な近世城郭づくりを進め、また、今日の郡山市の基礎を作ったのは秀長なのである。



所感

ガイドするにあたり、いろいろな書物を調べ、図書館にも行き、そして、現地を歩いた。うわべだけでは理解できない歴史の奥深さを知った。企画委員の楽しいのは、こういう経験だろうと思う。